

令和4年度施設改善実績報告のまとめ

技術安全委員会

1. 施設改善の実施

施設改善実績報告書は、アンケート形式で任意に報告してもらった会員の施設改善実績を集約整理し、全体の概況をまとめたもので、令和4年度施設改善実績調査結果を「受電設備の環境整備と低圧関係の改善」と「高圧設備関係の改善」に分類し令和4年を含めた過去5年間分を報告する。電気管理技術者は、保守・点検に際し、常に問題意識を持ち、設備に真摯に向き合い、改善意欲を持って問題点を摘出、対処することが大切である。

統計的に表れた改善・改修項目の多寡から、他の会員の視点が把握できる。これを参考にして会員各自の予防保全業務の質的向上に役立てて頂きたい。

また、令和元年度は、大型台風による発電設備(太陽光発電所)の被害が多かったことから、発電所の項目を追加している。

2. 施設改善件数の年度比較

「過去5年間の施設改善実績」は、表1に示す通りであ

表1 過去5年間の施設改善実績

項目	施設改善・改修・取替え、設備内容	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
1	高圧ケーブルを取替えた	1,234	1,250	1,317	1,322	1,449
2	PAS・PGSを新規に設置した(直接引込みから設置へ)	251	224	183	204	165
3	PAS・PGSを取替えた	868	934	990	936	1082
4	UGS・UASを新規に設置した(PDS, MDSからの変更)	603	620	555	586	468
5	UGS・UASを取替えた	104	108	131	124	160
6	地絡・短絡防止対策を施した(DS・LBS相間絶縁バリヤを設置ほか)	170	153	174	203	199
7	プライマリーカットアウトスイッチ(PCS)を取替えた	139	126	129	141	155
8	パワーヒューズ(PF)を改修(不良交換、更新、容量の適正化)した	212	276	257	232	222
9	LBSを取替えた	933	921	912	896	853
10	VCS・VMC等の負荷開閉器を取替えた	77	93	94	91	80
11	遮断器を取替えた(OCB、VCB他)	421	474	467	476	448
12	計器用変圧器(VT)・変流器(CT)を取替えた、または撤去をした	283	298	255	307	311
13	過電流継電器(OCR)を取替えた	361	392	386	384	307
14	地絡継電器(GR, DGR他)の取替え、またはZCTの設置位置を変更した	235	217	209	210	174
15	雷害防止のためアレスターを設置または取替えた	29	29	36	50	35
16	クリートまたは母線支持碍子、絶縁電線の改善をした(絶縁回復剤での改善は含まない)	263	244	323	333	282
17	絶縁回復剤で高圧機器絶縁の維持・回復の対策を施した	2,357	2,488	2,418	2,331	2,407
18	トランスの改修(増設、減設、取替え)をした	589	734	630	740	718
19	絶縁油の交換または劣化防止剤を入れた	325	316	320	282	232
20	高圧コンデンサ・リアクトルを取替えた、PFの設置、高調波対策をした	468	540	564	638	604
21	小動物侵入防止対策を実施した	1,231	1,117	1,033	1,042	990
22	電気室・キュービクルへの植物・つる草類の浸入防止または伐採をした	5,372	5,166	5,424	5,191	4,925
23	構内工事施工時の管理技術者への連絡義務化を徹底した、保安教育を改めて行った	1,104	1,166	1,086	1,190	1,132
24	暴風雨・雪による電気設備への悪影響防止対策を実施した	473	602	420	453	346
25	漏電遮断器・漏電火災警報器を取替えた	399	455	371	388	362
26	漏電遮断器を新設した	203	216	198	227	172
27	ナイフスイッチ・ブレーカ等、及び電磁開閉器等を改修した	556	529	550	641	446
28	低圧幹線・コンセント・低圧コンデンサ等の改修(過熱・緩み・絶縁不良等)をした	726	825	791	724	640
29	低圧CV電線の紫外線劣化対策、紫外線劣化による張替を実施した	55	33	31	40	36
30	接地抵抗値の改善、接地線等の改修を実施した	262	258	296	344	309
31	キュービクル・電気室のリニューアルを行った	375	455	382	422	404
32	キュービクル他環境整備(塗装、錆穴補修、排水改善、昇降階段等安全改善)をした	521	445	613	571	506
33	自家発電装置を改修(整備、取替え、新設を含む)した	365	328	412	348	417
34	発電所の改修をした	—	26	27	42	52
35	その他	146	156	120	179	135
	合計	21,710	22,214	22,104	22,288	21,223

前年度比 -5.02%

る。改善総件数は、直近3年間は22,000件を超えていたが、令和4年は、21,223件と昨年度比で約5%の減となった。

3. 改善件数の推移

自家用電気工作物の維持管理には、予防保全の見地から施設の改善・改修が極めて重要となる。自家用構内で通常行われる各種の環境整備や改善・改修は、高度な技術や多額な経費を伴う場合だけでなく、草取りや清掃など地道なものまで幅広くある。電気管理技術者は施設の実態に応じ、それぞれの工夫を加えて維持・改善・改修を実施していくことが必要である。

過去5年間における受電設備の環境整備と、低圧関係の改善件数を図1に示す。内訳を見ると「植物・つる草類対策」が4,925件と圧倒的に多く、「絶縁回復剤で高圧機器絶縁の維持・回復の対策を施した」は2,407件と2

番目に多くなっている。

絶縁回復剤は一般的に、絶縁抵抗値が著しく低下した場合の絶縁回復を目的としているが、個別回答の分析から設備維持を目的に活用するなど、積極的に使用している状況も見られた。

高圧関係の過去5年間の推移を図2に示す。PASやUGS等の新設、高圧ケーブル、LBSの交換など波及事故対策に会員がよく取り組んでいることが分かる。

PASはUGSより普及が早かったこともあって、更新時期を迎えているものが多いことが分かる。PASやUGSは波及事故防止に重要な役割を果たしているが、劣化によって波及事故の原因となったり、不必要動作も発生しているため、新設だけではなく設備更新にも一層の努力をお願いしたい。

また、トランスの改修が高い数値で継続しており、積

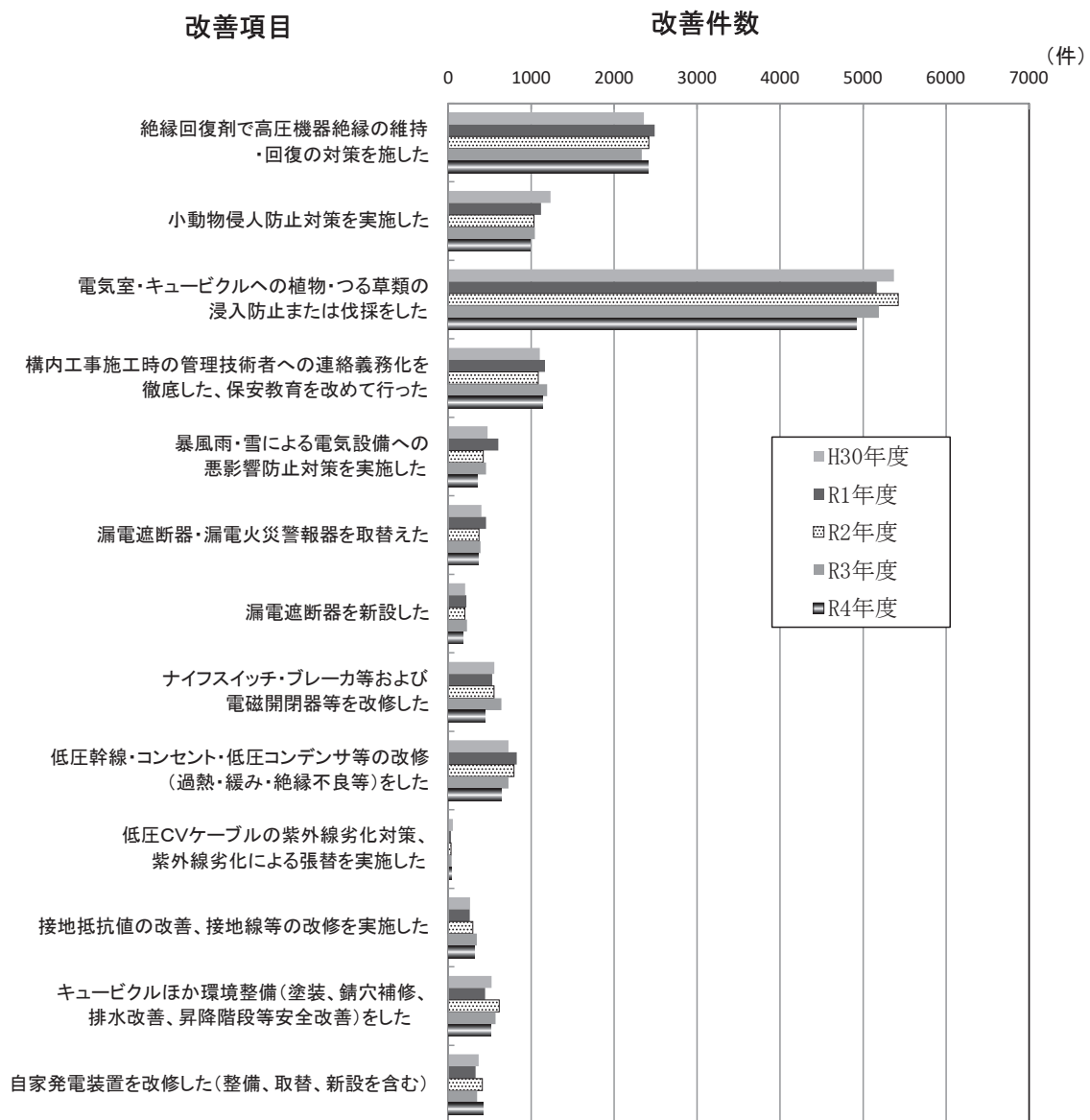


図1 過去5年間における受電設備の環境整備と低圧関係の改善件数

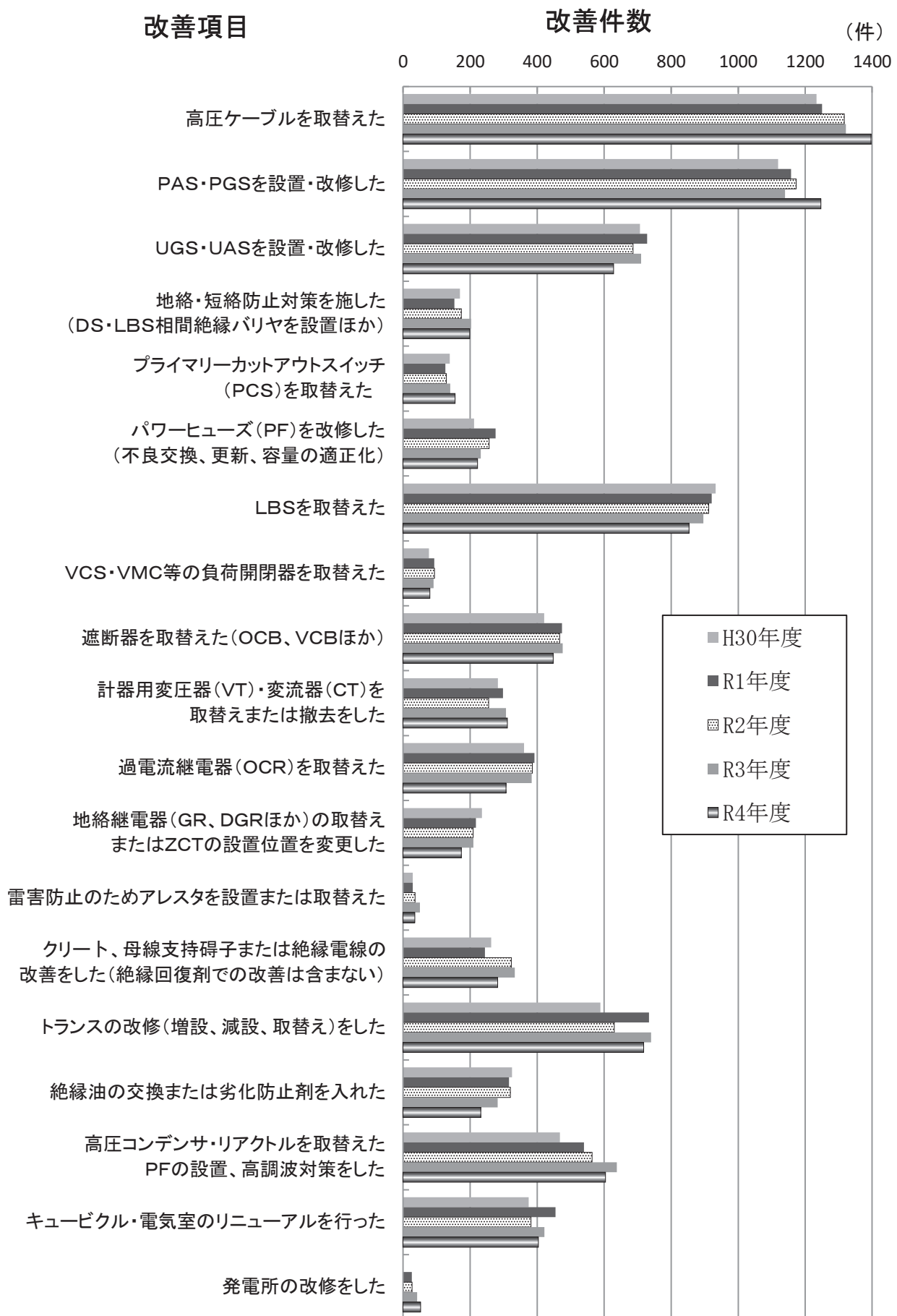


図2 高圧関係の過去5年間の改善件数

極的にPCB含有検査を実施していることも影響していると思われる。PCB廃棄物の処分期間は決まっているため、早めの対策をお願いしたい。

善に対する関心度や取り組み状況が汲み取れる。その評価や今後の対策については、それぞれの事情を踏まえ各支部毎に行って頂きたい。

4. 支部毎の取り組み状況

会員一人当たりの施設改善件数を図3に示す。
一人当たりの改善件数は約11件以上であり、施設改

支部毎の回答者率を図4に示す。

令和4年度の回答率は89.8%、前年比で2.0%増加した。会員各位のご協力に感謝する。

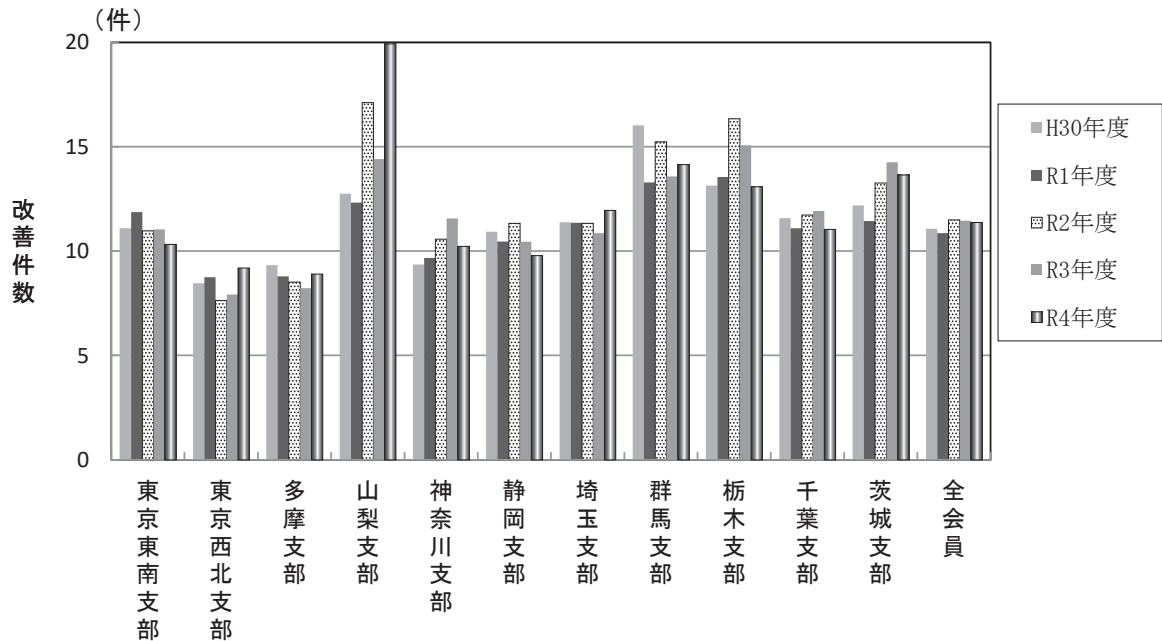


図3 会員一人当たりの改善件数

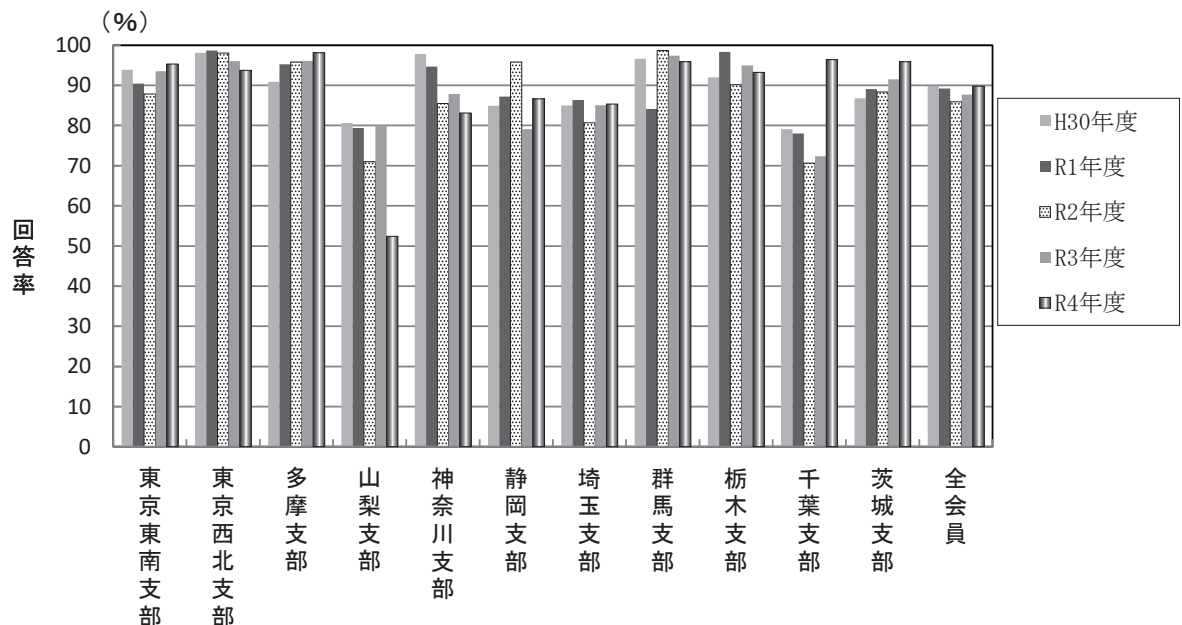


図4 支部毎の回答率